

あいち農産物生産流通レポート

平成27年1月号

情報サロン

- ・みんなで楽しく学ぼう！

～ 県内2か所のイベントで食育推進活動を行いました～

(食育推進課) 1

地域トピックス

- ・消費拡大は足元から！フラワーウォーク尾張版開催！

(尾張農林水産事務所) 2

- ・あいち花フェスタ2014が開催されました

(知多農林水産事務所) 3

東日本情報

- ・「6次産業化推進シンポジウム」で先進的取組を紹介

(東京事務所) 4

フラワーページ

- ・群馬県のコギク生産拡大に向けた取り組み

(群馬県東京園芸情報センター) 6

青果

・愛知産青果物の動向(名古屋・東京市場) 7

・名古屋・東京市場における青果物の1月の見通し 8

花き

・切花・鉢花の1月の見通し(県内市場) 20

輸出入

・主要農林水産物の輸出入実績(2014年10月) 24

関連指数 25

今月、「西日本情報」はありません。

内容についての問い合わせ先

愛知県東京事務所行政課農産物流通対策グループ

(03)-5492-5400

愛知県農林水産部食育推進課

(052)-954-6421

みんなで楽しく学ぼう！

～県内2か所のイベントで食育推進活動を行いました～

愛知県では、県民の皆さんに食の大切さを知ってもらい、食育の実践を促すため、県内各地で食育推進活動を行っています。

平成26年11月には、名古屋市中心卸売市場の「ふれあい市場まつり」、イオン新瑞橋店の「いいともあいちフェア」において、県民の皆さんが「地産地消」「バランスのとれた食事の実践」について楽しく学べるよう、食育推進ボランティアや野菜ソムリエ等と一緒に活動を行いました。

ふれあい市場まつり（平成26年11月16日（日））

場 所：名古屋市中心卸売市場

取組内容：管理栄養士による栄養相談、粉あてクイズ、ミニ絵本づくり等

当日は、天候にも恵まれ多くの方に参加していただきました。栄養相談では、相談者に日ごろの食生活を振り返っていただくとともに、相談者にあったメニューの提案を行いました。

粉あてクイズでは、原材料をヒントに、実際に米粉や片栗粉など5種類の粉を触り、その名前を当てていただきました。

また、ミニ絵本づくりでは、友人や家族と一緒に野菜版を始め3種類のミニ絵本を作り、県産農林水産物について学んでいただきました。



栄養相談の様子



この粉、何の粉？

いいともあいちフェア（平成26年11月29日（土））

場 所：イオン新瑞橋店

取組内容：野菜ソムリエによる野菜トークショー、野菜350gを当てるクイズ、箱の中の野菜を当てるクイズ等

当日は、新瑞橋店に来店した家族連れなど、多くの方に参加していただきました。

トークショーでは、野菜ソムリエが県産野菜の産地、美味しい野菜の見分け方や、保存方法等をお伝えし、県産野菜のPRを行いました。

また、野菜を食生活に取り入れてもらうため、実際に数種類の野菜を1日の摂取目標量である350gになるよう組み合わせ、秤で計量し、その重さを実感していただきました。



県産野菜のPR



野菜350gはどのくらい？

消費拡大は足元から！フラワーウォーク尾張版開催！

尾張農林水産事務所

尾張花き連合会（事務局：尾張農林農政課内）は、平成26年6月30日(月)及び12月10日(水)の2回にわたり、県三の丸庁舎において、「フラワーウォーク尾張版」を開催しました。

今年は、稲沢市と犬山市の生産者がそれぞれアンズリウムとシクラメンを提供し、愛知県三の丸庁舎入居機関および一宮保健所稲沢分室、尾張農林水産事務所稲沢駐在室の職員に斡旋しました。

ピンクが人気！アンズリウム

尾張農林水産事務所は、県庁で年6回程度開催されるフラワーウォークにも参加しており、毎回20～40鉢程度の申し込みがあります。

6月に配布したアンズリウムは、一鉢1,000円で、これまでに開催した金額500円の倍の単価でしたが、尾張農林水産事務所だけで35鉢、他機関を含めると75鉢の申し込みがありました。

ガラスの鉢が用いられたおしゃれな外観に加え、3色を用意して色別に注文を受けたことが、複数注文につながり、需要を喚起したと考えられます。

なお、最もよく売れたのはピンクで、白の1.8倍でした。



3色のアンズリウム

前年比170%！シクラメン

12月のシクラメンは、昨年と同じ日付で同様に実施しています。昨年は、色はすべてお任せで注文を受けましたが、今年は6月のアンズリウムの経験を踏まえ、色の系統別に赤、白、ピンク、紫の4色に分けて注文を受けました。

すると、今回の注文数は、187鉢と、昨年の170%にも達しました。

今回、最もよく売れたのはピンクでしたが、イメージがわきにくかった「紫」が配布時に他の方の目にも触れて話題になりました。次回の企画では紫の売れ行きも伸びると予測されます。



バラエティに富むシクラメン

参加者の反応は、上々！

アンズリウムに対しては、「思ったより大きくて立派。」「夏を越しても元気で長持ちしている。」などの感想が寄せられました。

一方、シクラメンの配布時は、形状や色合いがバラエティに富んでいたため、「こんなにいろいろと種類があるんだね。」「どれにしようか迷ってしまう。」とずいぶん盛り上がりました。



配布時の盛り上がり

今後も、身近な消費者へ尾張の花きの良さを伝えるために、工夫して、尾張ならではのフラワーウォークに取り組めます。

あいち花フェスタ2014が開催されました

平成26年11月21日(金)から24日(月・振休)の4日間、中部国際空港セントレアで、「あいち花フェスタ2014」のメインステージが開催されました。

フラワーディスプレイ

会場では、目玉展示であるポインセチアを使用したクリスマスツリーを始め、5市5町の花き組合ディスプレイ、市町PRコーナー・いけばな、ハンギングバスケット、県花き連展示、全国都市緑化フェアPR展示など、色とりどりのフラワーディスプレイで、来場者の目を楽しませていました。

また、新しい試みとして、来場者による人気投票形式でのフラワーコンテストを実施しました。投票結果がそのまま順位となるため、生産者にとっては消費者の好みを知る絶好の機会となりました。



【クリスマスツリー】

ステージイベント

ステージイベントでは、花男子パフォーマンスによる「いい夫婦の日」の花贈りPRを始め、知多地域のゆるキャラ®による物産・観光PR、いけばなデモンストレーションなど、幅広い年齢層をターゲットにしたイベントを開催しました。

他にも、花育教室、スタンプラリー、物産展などを実施して、多くの方にご来場いただきました。



【会場の様子】

大盛況のうちに

このうち、農政課は、半田農業高校の研究発表、ゆるキャラ®関係のステージイベントを担当しました。ステージでは、花や市町にまつわるクイズを出題して、来場者に知多地域のPRを行うとともに、花への関心度を高めました。

また、PRカードの賞品引き換えをセントレアホールで実施して集客に努めました。

会期中は天候に恵まれたことや、プレスステージ等での事前PRが功を奏し、15万人近くの来場者を得て、盛況のうちに無事終えることができました。



【ステージの様子】

「6次産業化推進シンポジウム」で先進的取組を紹介

本シンポジウムは、農林水産省の補助事業としてNAPA（野村アグリプランニング&アドバイザー株式会社）の主催で、異業種や地域とのネットワークを積極的に構築し、新たな視点で6次産業化の先進的な取組事例を紹介する目的で、平成26年11月25日（火）に日本橋三井ホール（中央区日本橋）で開催されましたのでその結果を報告します。

1 シンポジウムの概要

農林水産省食料産業局長の桜庭英悦（さくらばえいえつ）氏から、「全国各地のモデルとなる先進事例を表彰し、日本各地においてそれぞれの地域特色を活かした多様な6次産業化の取組を展開してほしい。6次産業化をキーワードとしてグローバルとローカルをどのように結びつけていくか、地域への雇用創出等参考にしたい。」等のあいさつがありました。

2 6次産業化の先進事例表彰

今回（2回目）は、全国から50事業体の応募があり、7つの項目（経営規模、収益性、成長性、バリューチェーン、イノベーション、地域貢献、社会貢献）を評価し、数値化した後プレゼンを聞いて決定していました。

農林水産大臣賞には、和歌山県有田市にある株式会社早和果樹園（代表 秋竹新吾氏）が選ばれました。早和果樹園は、有田みかんの生産者7戸で平成12年に設立した会社で、みかんの味にこだわった栽培（周年マルチ点滴灌水同時施肥法）で「味ーみかん」を増産する一方で「味ーしぼり」、「てまりみかん」等の加工品を次々に展開し成長を遂げた会社でした。栽培面では、富士通との協力でICT農業システムを導入し、樹木一本ごとにID化して樹園地の見える化を図り成功していました。常にお客様視点で商品づくりを行い、年間65万人に試飲したという企業努力には目を見張るものがあり、それが新しい商品開発に成功していると思われました。また高価格帯の商品だけでなく、手ごろな価格で提供する「飲むみかん」も販売しており、これを導入することで売上が急増したようで、創造性、成長性、地域貢献といった点からいずれも高く評価されていました。



受賞者の撮影（前列右から3番目が早和果樹園の秋竹氏）

表彰

農林水産大臣賞
株式会社早和果樹園（和歌山県有田市）

食料産業局長賞
有限会社柏崎青果（青森県おいらせ町）
株式会社いでぼく（静岡県富士宮市）
株式会社恵那川上屋（岐阜県恵那市）
やまいもまつり有限会社（山口県周南市）
株式会社お菓子のポルシェ（沖縄県読谷村）

食料産業局長賞を受賞された5団体についても高く評価されており、各地で様々な取組が行われ、新たな雇用創出や地域資源の活用、輸出に対する戦略等、6次産業化への期待がうかがえました。

3 パネルディスカッション

「農林漁業の未来創造戦略」と題して、受賞者である早和果樹園の秋竹新吾代表取締役、いでぼくの井出行俊代表に、(株)エー・ピーカンパニーの米山久代表取締役社長と農事組合法人と郷園の木内博一代表理事を加え、コーディネーター（滋賀大学社会連携研究センター石井良一教授）によるパネルディスカッションが行われました。

秋竹氏は前述の通りで、今後はみかんの機能性を発揮できる商品開発や輸出に大きな関心を持っていました。

井出氏は富士山麓での酪農を基盤にホルスタイン種だけでなく、ジャージー種やブラウンスイス種を導入し、その乳製品はアイス、ソフト、クレープと多岐にわたり小田急電鉄や三越伊勢丹グループ等との取引をしていました。フランチャイズによる店舗展開も軌道に乗っていて、品川等県外への出店も計画していました。また地元農家と連携し、いでぼく認証野菜をブランド化していました。素材をブランド化した都市近郊酪農モデルとして今後更なる発展が期待されました。

米山氏は3次産業（飲食店経営）から6次産業化を展開しており、「塚田農場」がよく知られています。宮崎県の地鶏に焦点をあて差別化し、いいものを安くお客様に提供することを目的としていました。今後は飲食以外での販売戦略、例えばECサイトのなかで塚田農場を広めていきたいと語っていました。

木内氏は1次産業から2次、3次と6次産業化を展開しており、農業生産の安定と生産拡大に必ずつながるように、また付加価値がつくような産品を考えて取り組んでいました。3次（販売）では自分たちの取り組みをPRしたいことも理由の一つでした。今後は全国網羅できる加工基地を作りたい。また商品の販売開発を異業種と連携して進めたいと語っていました。



パネルディスカッションする4名

（左から早和果樹園秋竹氏、いでぼく井出氏、和郷園木内氏、エー・ピーカンパニー米山氏）

シンポジウムを通じて6次産業の多様性、また成功には多くの要素があることを再認識しました。例えば、消費者目線、商品の特徴、地域からの理解、売る側の理解、進むべき方向性の提示、異業種交流、技術開発等。今後、「農林水産業・地域の活力創造プラン」に基づいた6次産業化等の推進により、農業の成長産業化が進むと思われませんが、成長した企業によって農産物の流通形体が緩やかに変化していく可能性を感じました。

群馬県のコギク生産拡大に向けた取り組み

〔概要〕

群馬県のコギク作付面積は、16.3ha(平成25年)で、平坦地から中山間地まで広く栽培されています。生産者数は約200名で、県内で最も生産者数の多い品目となっていますが、近年、他の花き品目と同様に生産者数、作付面積ともに減少傾向にあります。

そのため、県では、新規栽培者の掘り起こしや生産拡大に向けた取り組みを行っています。

栽培テキストの作成

平成25年度に新たにコギク栽培に取り組む生産者を主な対象とした栽培テキスト『まるごと「ぐんまのコギク」ブック』を作成しました。

新規に栽培を始める人にもわかりやすい様に、写真を中心に解説しており、また、各産地で慣例的に行われている工夫点などもワンポイントアドバイスとして、多く掲載しています。



『まるごと「ぐんまのコギク」ブック』

県オリジナル品種の育成

県農業技術センターでは、本県の気候や栽培条件に適応し、需要期に安定して開花する品種の育成に取り組んでいます。

これまでに8月盆向けの2品種「小夏の風(白色)」、「小夏の月(黄色)」を育成し、平成25年12月には、新たに7月咲きの黄色品種「小夏の星(仮称)」の品種登録出願を行いました。平成26年10月には「国際フラワー EXPO」に出展し、実需者に向けて新品种「小夏の星(仮称)」のPRを行いました。



国際フラワー EXPO での品種展示

愛知産青果物の動向

青果物の見通し」及び「花きの見通し」ページにおいて使用する『変動の幅を表す用語』につきましては、下記の基準で記載しております。

わずか : ± 2 % 台以内
 や や : ± 3 ~ 5 % 台
 かなり : ± 6 ~ 15 % 台
 大 幅 : ± 1 6 % 以上

名古屋市中央卸売市場（品目：小松菜）

	入 荷 量 (t)		卸 売 価 格 (円 / kg)		前年の主な他産地 (上位 3 産地)
		うち愛知産		うち愛知産	
2 6 年実績	1 9 1	1 0 7 (5 6 %)	4 3 0	3 8 6	岐阜 (2 5 %) 静岡 (7 %) 茨城 (5 %)
2 7 年見通し	1 7 0	-	4 5 0	-	
入荷量及び卸売価格の概要と見通し			卸売市場から産地への要望・提言等		
<p>県内の主な産地は大治町、あま市（旧甚目寺町）、安城市。台風の影響もなく、順調な生育ではあるが、作付面積の減少により、入荷量は減少傾向。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年をやや上回る見込み。</p>			<p>愛知、岐阜は生産者の高齢化に伴う作付面積の減少により、出荷量は減少傾向にある。葉菜類ではほうれん草の人気の高いが、小松菜も栄養価が非常に高いことをアピールしていくことが重要。 原油価格の高騰などにより費用がかさむが、値段は大きく変わらないため、生産者の持ち出しが増える一方である。産地の維持をどのように行っていくかが課題である。</p>		

東京都中央卸売市場（品目：セルリー）

	入 荷 量 (t)		卸 売 価 格 (円 / kg)		前年の主な他産地 (上位 3 産地)
		うち愛知産		うち愛知産	
2 6 年実績	9 3 4	1 7 3 (1 9 %)	2 4 0	2 4 0	静岡 (4 4 %) 福岡 (1 8 %) 茨城 (7 %)
2 7 年見通し	9 0 0	-	2 4 5	-	
概 要 と 見 通 し			卸売市場から産地への要望・提言等		
<p>静岡が入荷の4割以上を占め、愛知、福岡がそれに続く。静岡の入荷量は平成23年以降減少傾向で推移しており、最初のピークは12月である。本県産は2月にピークを迎える。生育は各産地とも概ね良好であり、価格は220円/kg前後と前年よりかなり安く推移している。 入荷量は多かった前年をやや下回り、価格は前年をわずかに上回る見込み。</p>			<p>適期収穫や温度管理による品質保持を徹底して行われており、愛知産の形状や品質に問題は無い。日量格差のない安定した出荷と事前の出荷予測情報提供が望まれる。</p>		

名古屋・東京市場における青果物の1月の見通し

名古屋市中央卸売市場

12月13日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
野菜計	22年	32,270	210	231	200	181	愛知 28%
	23年	29,155	221	235	218	204	北海道 24%
	24年	30,335	232	329	221	215	茨城 7%
	25年	30,996	226	277	221	220	静岡 5%
	26年	30,561	229	279	220	220	
	5カ年平均	30,663	224	-	-	-	
	27年見通し	30,700	212	-	-	-	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
愛知、北海道からの入荷が中心となる。台風や天候不安定の影響で出荷量は安定しない。今後は冷え込みの影響が着色や玉の肥大に影響してくる。入荷量は前年並みで、価格は前年をかなり下回る見込み。							
だいこん	22年	1,707	76	82	75	74	静岡 44%
	23年	1,855	62	53	57	70	徳島 16%
	24年	1,998	83	95	79	84	千葉 14%
	25年	1,716	99	112	99	93	愛知 9%
	26年	1,833	79	85	75	80	
	5カ年平均	1,822	80	85	77	80	
	27年見通し	1,800	73	80	70	70	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
静岡、徳島を中心に、前半は愛知の残数も入る。台風の影響も少なく、昨年並みの出荷が見込まれる。入荷量は前年並みで、価格は前年をかなり下回る見込み。							
にんじん	22年	2,098	79	89	80	73	愛知 83%
	23年	2,066	114	114	109	120	鹿児島 11%
	24年	1,932	117	129	122	112	熊本 2%
	25年	2,094	117	127	121	115	長崎 2%
	26年	2,059	128	151	131	119	
	5カ年平均	2,050	111	122	112	108	
	27年見通し	2,100	105	120	100	100	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
愛知を中心に、鹿児島が続く。全体的に豊作で生育も順調。鹿児島は9月の台風の影響があり、若干遅れがちではあるが、下旬には持ち直す。年内はM、L中心で、年明けからはL、LL中心となる。入荷量は前年並みで、価格は前年を大幅に下回る見込み。							

東京都中央卸売市場

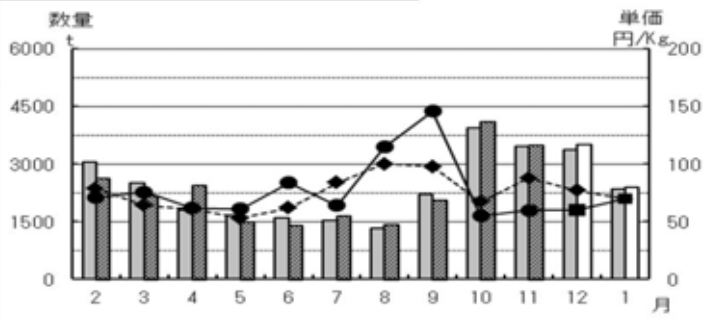
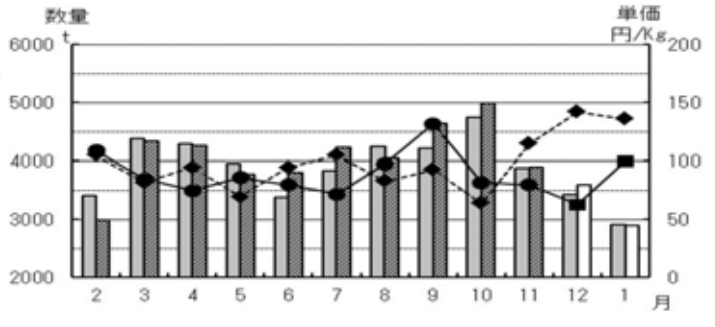
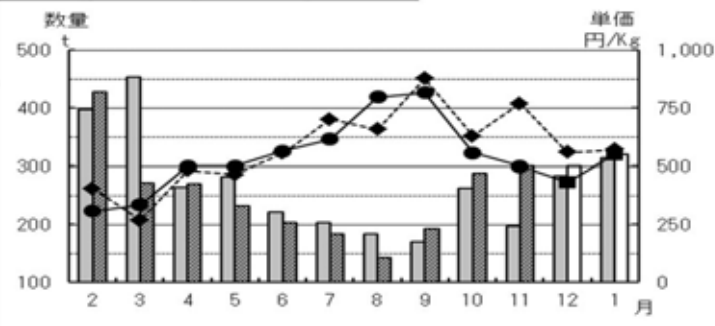
12月26日現在

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
野菜計	22年	117,517	236	246	226	237	千葉 18%
	23年	116,467	228	238	220	231	茨城 16%
	24年	116,831	248	287	228	243	北海道 10%
	25年	118,040	256	296	248	236	愛知 8%
	26年	122,239	242	273	231	232	(愛知産比率 8%)
	5ヵ年平均	118,219	242	-	-	-	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	27年見通し	122,000	237	-	-	-	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>千葉、茨城など関東産地からの入荷が中心で、土物類は北海道からの入荷となる。にんじん、はくさいは生育良好で順調入荷が期待できる。果菜類は低温で着色、肥大が鈍いが入荷量は品目でまちまち。</p> <p>入荷量は前年並の見込みで、価格は前年をわずかに下回る見込み。</p>							
だいこん	22年	12,282	81	84	77	81	神奈川 51%
	23年	12,791	59	54	53	67	千葉 40%
	24年	12,274	90	88	85	95	徳島 3%
	25年	12,809	105	116	102	100	鹿児島 2%
	26年	13,506	78	90	72	73	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均	12,732	84	86	79	86	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	27年見通し	13,600	72	68	72	76	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>神奈川、千葉からの入荷が中心となる。神奈川は冷え込みで肥大が進まない状況だが、全体的に生育良好。千葉は台風の影響で一部欠株がみられるほ場があるが、全体的に肥大も生育も良好。</p> <p>入荷量は前年並で、価格は前月から持ち直すが前年をかなり下回る見込み。</p>							
にんじん	22年	7,490	77	86	78	73	千葉 81%
	23年	6,617	138	142	138	139	埼玉 8%
	24年	6,744	106	112	105	104	茨城 4%
	25年	6,307	137	137	136	139	中国 2%
	26年	6,557	143	159	143	133	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均	6,743	119	126	119	116	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	27年見通し	6,700	115	120	115	110	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>千葉を中心に関東産地からの入荷となる。千葉は肥大も品質もよく生育良好。埼玉は肥大がよく生育良好。茨城は一部で台風の影響から肥大不足等みられるが全体的には生育良好。</p> <p>入荷量は前年をわずかに上回り、価格は高かった前年を大幅に下回る見込み。</p>							

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)
			上旬	中旬	下旬	
ほうき	22年	2,430	61	61	61	茨城 37% 愛知 33% 兵庫 17%
	23年	2,718	61	63	59	
	24年	2,660	70	73	65	
	25年	2,691	75	88	75	
	26年	2,350	70	82	68	
さい	5ヵ年平均	2,570	67	73	66	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	27年見通し	2,400	70	70	70	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		愛知、茨城からの入荷が中心で兵庫が続く。茨城、兵庫は安定した出荷が見込まれるものの、愛知産は台風の影響で痛みが出ており、数量はそれほど多くはない。 入荷量は前年をわずかに上回り、価格は前年並みの見込み。				 <p>ほうきの数量と単価の月別推移。数量は棒グラフ、単価は折線グラフで示されています。数量は概ね1500tから3000tの間で推移し、単価は50円/kgから150円/kgの間で変動しています。</p>
キャベツ	22年	2,491	92	74	92	愛知 92% 茨城 3% 鹿児島 2%
	23年	2,518	101	82	104	
	24年	2,981	128	145	131	
	25年	3,336	109	108	104	
	26年	2,910	136	152	132	
べつ	5ヵ年平均	2,847	114	114	113	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	27年見通し	2,900	100	100	100	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		愛知からの入荷が中心となる。台風の影響と病気の発生により遅れがちではあるが、年明けには回復すると思われる、しかし、天候次第では今後の入荷量への影響も懸念される。 入荷量は前年並みで、価格は前年を大幅に下回る見込み。				 <p>キャベツの数量と単価の月別推移。数量は棒グラフ、単価は折線グラフで示されています。数量は概ね3000tから5000tの間で推移し、単価は50円/kgから150円/kgの間で変動しています。</p>
ほうれんそう	22年	378	509	533	506	愛知 78% 群馬 5% 茨城 5%
	23年	310	485	380	525	
	24年	333	553	714	542	
	25年	326	558	573	573	
	26年	314	571	603	570	
れん	5ヵ年平均	332	535	562	542	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	27年見通し	320	550	600	550	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		愛知からの入荷が中心となる。順調な出荷が見込まれるが、生産者減による出荷量への影響が懸念される。 入荷量は前年をわずかに上回り、価格は前年をやや下回る見込み。				 <p>ほうれんそうの数量と単価の月別推移。数量は棒グラフ、単価は折線グラフで示されています。数量は概ね200tから500tの間で推移し、単価は250円/kgから750円/kgの間で変動しています。</p>

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ほうきさい	22年	12,524	36	34	37	38	茨城 81%
	23年	12,397	48	50	47	49	群馬 9%
	24年	13,250	56	48	52	64	兵庫 4%
	25年	13,772	72	77	76	66	埼玉 3%
	26年	14,528	62	69	63	56	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均	13,294	55	56	56	55	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	27年見通し	15,000	50	45	50	55	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>茨城からの入荷が中心で、群馬、兵庫、埼玉からの入荷が増えてくる。茨城は病害虫被害なく生育良好で大玉傾向。群馬も生育良好で11月までの気温高の影響でやや前進傾向。</p> <p>入荷量は前年をやや上回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。</p>					
		<p>数量 (t) と 単価 (円/kg) の推移グラフ。数量は棒グラフ、単価は折線グラフで示されています。数量は概ね5,000tから12,000tの間で推移し、単価は40円/kgから160円/kgの範囲で変動しています。</p>					
キャベツ	22年	12,518	102	83	105	113	愛知 53%
	23年	12,623	104	85	106	113	千葉 26%
	24年	13,391	129	136	130	123	神奈川 12%
	25年	13,161	120	128	114	120	茨城 5%
	26年	12,674	138	149	134	135	(愛知産比率 53%)
	5ヵ年平均	12,873	119	117	118	121	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	27年見通し	12,600	110	100	110	120	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>愛知、千葉、神奈川からの入荷が中心となる。本県産は一部で黒腐病の発生があるが、生育は概ね良好。千葉は台風でまき直した影響が中下旬にでる模様。神奈川は生育良好でやや小玉傾向。</p> <p>入荷量は前年並で、価格は高かった前年を大幅に下回る見込み。</p>					
		<p>数量 (t) と 単価 (円/kg) の推移グラフ。数量は概ね10,000tから20,000tの間で推移し、単価は60円/kgから180円/kgの範囲で変動しています。</p>					
ほうれんそう	22年	1,721	507	551	491	490	群馬 30%
	23年	1,514	485	451	480	510	茨城 22%
	24年	1,302	580	710	493	589	埼玉 20%
	25年	1,522	574	620	577	546	千葉 18%
	26年	1,518	535	581	533	508	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均	1,515	534	578	515	526	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	27年見通し	1,600	520	540	520	500	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>群馬、茨城など関東産地からの入荷が中心となる。群馬は露地、ハウスともに生育良好だが、雪害のハウス再建が遅れている。茨城、埼玉、千葉は生育良好で潤沢な入荷が期待できる。</p> <p>入荷量は前年をやや上回り、価格は前年をわずかに下回る見込み。</p>					
		<p>数量 (t) と 単価 (円/kg) の推移グラフ。数量は概ね1,000tから2,000tの間で推移し、単価は300円/kgから900円/kgの範囲で変動しています。</p>					

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ねぎ	22年	1,138	359	435	341	320	静岡 23%
	23年	1,012	387	439	370	377	愛知 20%
	24年	1,044	358	424	334	356	大分 16%
	25年	986	361	456	348	324	群馬 11%
	26年	995	362	434	355	333	
	5ヵ年平均	1,035	365	437	349	342	
27年見通し	1,000	350	400	350	300	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>長ねぎは愛知からの入荷が中心。日照不足により全体的に細め。白ねぎは鳥取、静岡から入荷。生育は順調で、2L、3Lの比率が高くなる。 入荷量は前年並みで、価格は前年をやや下回る見込み。</p>							
レタ	22年	1,433	266	251	264	281	兵庫 40%
	23年	1,163	243	184	233	298	愛知 18%
	24年	1,395	323	390	290	309	熊本 15%
	25年	1,309	437	454	409	432	静岡 10%
	26年	1,586	288	324	266	283	
	5ヵ年平均	1,377	311	323	292	319	
27年見通し	1,350	350	320	330	380	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>兵庫の淡路島、愛知、静岡等から入荷。天候の影響受けやすく、兵庫の冷え込みが懸念される。どの産地も肥大が進んでおらず、年明けまで玉太りの良いものは出ないが、1月中旬になれば増えてくる見込み。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。</p>							
きゅう	22年	1,277	327	278	345	357	愛知 52%
	23年	1,226	334	338	321	345	宮崎 18%
	24年	2,316	221	166	233	276	高知 15%
	25年	1,190	448	515	482	384	鹿児島 14%
	26年	1,364	337	345	334	355	
	5ヵ年平均	1,474	316	303	326	334	
27年見通し	1,350	350	350	350	350	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>愛知、西南暖地（宮崎、高知、鹿児島）から入荷。天候不良により入荷量は安定しない。前年より高値傾向は続いているが、中旬には落ち着くのでは。 入荷量は前年並みで、価格は前年をやや上回る見込み。</p>							

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ね	22年	5,164	269	319	260	242	千葉 32%
	23年	5,097	257	305	247	241	埼玉 26%
	24年	5,111	232	277	205	235	茨城 17%
	25年	4,984	283	330	288	247	群馬 12%
	26年	5,475	250	314	240	213	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均	5,166	258	309	248	235	
ぎ	27年見通し	5,600	250	280	240	200	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		千葉、埼玉など関東産地からの入荷が中心となる。千葉は台風の影響で一部曲がりが見られるが、好天で生育は前進傾向。埼玉は伸び太りともに良好。各産地とも生育は概ね良好で安定入荷が見込まれる。 入荷量は前年をわずかに上回り、価格は前年並を見込む。					
し た ス	22年	6,752	276	264	276	285	静岡 34%
	23年	6,327	234	186	225	284	兵庫 12%
	24年	7,108	314	365	287	301	香川 11%
	25年	5,668	434	478	411	417	長崎 9%
	26年	6,757	294	329	270	284	(愛知産比率 5%)
	5ヵ年平均	6,522	307	322	291	311	
ス	27年見通し	7,000	285	300	280	275	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		静岡、兵庫、香川、長崎からの入荷が中心となる。静岡は11月の曇雨天で病害が発生し、生育はやや不良だが、年明けは出荷が増える模様。兵庫、香川は好天に恵まれ生育良好で前進傾向。 入荷量は前年をやや上回り、価格は前年をやや下回る見込み。					
き ゆ う り	22年	5,463	345	310	361	363	宮崎 39%
	23年	5,181	349	353	346	349	高知 21%
	24年	4,912	450	382	420	559	千葉 19%
	25年	4,834	481	554	428	397	茨城 7%
	26年	5,090	370	365	380	367	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均	5,096	397	390	386	405	
り	27年見通し	4,900	400	0	0	0	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		宮崎、高知、千葉からの入荷が中心となる。宮崎は台風の影響で定植が遅れた。高知はやや軟弱徒長気味だが生育は概ね良好。千葉は着果良好で品質もよく順調な入荷が期待できる。 入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。					

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
な す	22年	448	331	256	354	393	熊本 50%
	23年	450	358	321	376	364	愛知 44%
	24年	398	434	411	422	474	高知 4%
	25年	377	420	419	414	434	岐阜 0%
	26年	449	351	368	354	342	
	5カ年平均	424	376	352	382	399	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	27年見通し	400	360	340	360	380	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>千両なすは愛知、長なすは熊本からの入荷が中心となる。両産地とも生育は順調であるが、冷え込みの影響で出荷が少ない状況である。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年をやや上回る見込み。</p>					
ト マ ト	22年	765	325	262	332	372	熊本 48%
	23年	891	308	339	323	272	愛知 27%
	24年	833	382	400	368	390	三重 15%
	25年	990	340	365	340	327	岐阜 6%
	26年	927	322	325	314	331	
	5カ年平均	881	335	340	335	336	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	27年見通し	900	320	320	320	320	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>熊本が中心の入荷。熊本の八代地区の作付面積が減少しているが、玉名地区は作付面積が増えており、全体的には出荷量は上昇する見込み。 入荷量は前年をわずかに下回り、価格は前年並みの見込み。</p>					
ミ ニ ト マ ト	22年	268	643	567	634	725	熊本 58%
	23年	313	536	480	537	582	愛知 26%
	24年	308	687	593	677	797	和歌山 11%
	25年	382	563	538	545	582	
	26年	379	618	584	607	640	
	5カ年平均	330	607	553	597	659	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	27年見通し	380	550	530	550	580	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>熊本中心で愛知が続く。熊本は冷え込みの影響があるも、ハウス物が順調。愛知は、冷え込みによる着花不良により、生育不良の可能性ある。 入荷量は前年並みで、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>					

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
な す	22年	1,907	406	299	449	479	高知 63%
	23年	2,080	374	354	381	374	福岡 18%
	24年	1,874	488	523	446	501	熊本 6%
	25年	1,822	434	391	428	461	佐賀 4%
	26年	2,356	389	394	387	373	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均	2,008	416	391	416	433	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	27年見通し	2,250	420	440	420	400	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>高知、福岡など西南暖地からの入荷が中心となる。全体的に生育は概ね良好。高知は気温低下で果実肥大が鈍く、脇芽の発生も少ない。福岡は、果実肥大は鈍いが、花数がやや増えてきた。</p> <p>入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。</p>					
ト マ ト	22年	4,581	362	293	373	417	熊本 44%
	23年	4,970	354	381	372	354	愛知 17%
	24年	4,628	437	462	420	428	栃木 12%
	25年	5,222	370	384	367	360	静岡 5%
	26年	5,223	356	365	348	354	(愛知産比率 17%)
	5ヵ年平均	4,925	375	377	375	381	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	27年見通し	5,250	355	360	350	355	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>熊本、愛知、栃木からの入荷が中心となる。各産地とも気温低下の影響で着色は鈍いが、玉伸びよく病害虫の発生が散見されるも生育は概ね良好。順調な入荷が期待できる。</p> <p>入荷量は多かった前年並で、価格も前年並を見込む。</p>					
ミ ニ ト マ ト	22年	1,058	647	578	639	718	熊本 42%
	23年	1,279	492	446	481	545	愛知 21%
	24年	1,183	687	602	656	814	宮崎 13%
	25年	1,415	559	553	538	585	千葉 8%
	26年	1,651	563	560	546	583	(愛知産比率 21%)
	5ヵ年平均	1,317	584	547	566	639	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	27年見通し	1,700	560	560	550	570	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>熊本、愛知、宮崎、千葉からの入荷が中心となる。各産地とも気温低下の影響で着色が鈍いが、生育は概ね良好。熊本は作付面積増。</p> <p>入荷量は前年をわずかに上回り、価格は前年並の見込み。</p>					

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ピーマン	22年	359	638	475	702	714	鹿児島 49% 宮崎 37% 高知 14%
	23年	441	490	321	493	619	
	24年	396	602	527	576	761	
	25年	339	774	724	759	794	
	26年	401	604	541	599	574	
マン	5カ年平均	387	614	508	617	687	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	27年見通し	410	650	550	700	700	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
西南暖地(宮崎、鹿児島、高知)から入荷。上旬ぐらいまでは天候不安定により少なめも、中旬以降は回復し、全体的には平年並みの出荷量となる。 入荷量は前年をわずかに上回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。							
ばいしょ	22年	2,586	128	128	131	125	北海道 52% 長崎 35% 鹿児島 13%
	23年	2,686	137	141	139	135	
	24年	2,967	108	105	110	108	
	25年	2,788	96	94	98	95	
	26年	2,804	105	108	105	106	
いしょ	5カ年平均	2,766	114	115	116	113	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	27年見通し	2,800	100	90	100	110	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
北海道の貯蔵ものと、長崎の秋じゃがいもと抑制ものが入荷。北海道はやや早めの出荷。長崎は上旬から出荷される。生育は順調でL玉中心。 入荷量は前年並みで、価格は前年をやや下回る見込み。							
たまねぎ	22年	4,460	106	105	109	104	北海道 95% 中国 2% 静岡 2% アメリカ 1%
	23年	4,350	119	107	132	114	
	24年	4,772	87	92	88	90	
	25年	5,477	78	79	82	84	
	26年	5,008	114	102	139	124	
ねぎ	5カ年平均	4,813	100	96	109	103	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	27年見通し	5,400	86	80	90	90	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
ほぼ北海道からの入荷となり、他には輸入もの。生育は順調で、L大以上の大玉が中心となる。 入荷量は多かった前年をかなり上回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。							

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ピ	22年	1,251	661	510	750	697	宮崎 49%
	23年	1,306	527	345	549	638	高知 21%
	24年	1,218	635	549	607	751	鹿児島 17%
	25年	1,149	773	744	783	777	茨城 11%
	26年	1,340	633	531	668	685	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均	1,253	646	536	671	710	前年及び本年の
27年見通し	1,300	650	750	650	650	入荷量・価格の動き	
マ ン	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	宮崎を中心に高知、鹿児島などから入荷する。宮崎は定植後、生育遅れがあったが、回復し順調な生育。冷え込みでやや生育が鈍っているが問題ない。高知は、肥大は鈍いが生育は良好。入荷量は前年わずかに下回り、価格は前年をわずかに上回る見込み。						
ば れ い し よ	22年	7,524	138	135	139	138	北海道 61%
	23年	7,814	145	146	145	144	長崎 28%
	24年	8,559	112	112	110	114	鹿児島 11%
	25年	8,137	101	104	102	99	千葉 0%
	26年	8,381	110	113	110	108	(愛知産比率 - %)
	5ヵ年平均	8,083	121	122	121	121	前年及び本年の
27年見通し	8,800	100	100	100	100	入荷量・価格の動き	
た ま ね ぎ	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	北海道を中心に長崎、鹿児島などから入荷する。北海道は順調な生育。前進出荷と生食用の出荷を加工向けに回したことにより、年明け以降の残量はやや減る。長崎は玉肥大が遅れており、やや小玉での出荷となりそう。入荷量は前年をやや上回り、価格はかなり下回る見込み。						
た ま	22年	8,145	127	121	123	135	北海道 84%
	23年	7,530	143	136	144	145	静岡 6%
	24年	8,925	95	96	93	96	中国 5%
	25年	8,676	84	80	83	88	米国 4%
	26年	8,423	140	134	137	145	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均	8,340	118	113	116	122	前年及び本年の
27年見通し	8,500	90	95	90	90	入荷量・価格の動き	
ね ぎ	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	北海道を中心に入荷する。順調な出荷が続いており、年明けは6日出しからのスタート。入荷量は前年並み、価格は高かった前年を大幅に下回る見込み。						

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
果実計	22年	9,777	283	307	268	281	静岡 18%
	23年	8,970	350	379	340	345	フィリピン 17%
	24年	8,847	352	390	329	352	青森 17%
	25年	8,392	334	405	315	313	愛知 16%
	26年	7,810	353	410	338	315	
	5ヵ年平均	8,759	333	-	-	-	
	27年見通し	7,900	330	-	-	-	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>主な産地は静岡、青森、愛知。みかん、りんご、いちごなどが入荷。天候不良による生育への影響が出ており、品質低下が懸念される。 入荷量は前年並みで、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>					
みかん	22年	2,789	163	172	152	164	静岡 58%
	23年	2,333	304	280	305	320	愛知 24%
	24年	2,777	224	239	222	217	和歌山 14%
	25年	2,555	205	226	193	199	愛媛 1%
	26年	2,557	212	227	206	207	
	5ヵ年平均	2,602	219	-	-	-	
	27年見通し	2,500	210	220	200	200	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>主な産地は静岡、愛知、和歌山。出荷は前倒し傾向。出荷量は前年とさほど差は無いが、品質が良くなく、売れ行きが懸念される。 入荷量は前年をわずかに下回り、価格は前年並みの見込み。</p>					
いちご	22年	890	1,054	1,141	996	1,033	愛知 56%
	23年	794	1,225	1,343	1,187	1,173	熊本 22%
	24年	732	1,338	1,430	1,217	1,369	三重 7%
	25年	869	1,175	1,427	1,062	1,069	鹿児島 6%
	26年	654	1,386	1,579	1,257	1,323	
	5ヵ年平均	788	1,223	-	-	-	
	27年見通し	700	1,300	1,400	1,200	1,300	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>主な産地は愛知、熊本。九州の作付け面積は減少している。また、定植の遅れがあり若干出荷に影響があるが、中旬以降は持ち直すであろう。 入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>					

東京都中央卸売市場

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
果実	22年	43,037	297	340	278	289	愛媛 19%
	23年	36,153	394	436	370	386	静岡 17%
	24年	38,790	355	416	334	337	青森 13%
	25年	34,699	369	454	350	338	和歌山 7%
	26年	36,814	365	436	344	342	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均	37,899	351	-	-	-	前年及び本年の
	27年見通し	37,000	380	-	-	-	入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
みかん中心にりんご、いちごなどが入荷する。また、いよかん、ぼんかん等の柑橘類の入荷も増える。みかんは品質もあがり引き合いも強くなっていく。りんごはサンふじ、王林などの貯蔵物となる。全体の入荷量は前年並み、価格は前年をやや上回る見込み。							
みかん	22年	17,234	165	171	159	167	静岡 35%
	23年	12,837	310	285	306	328	愛媛 22%
	24年	17,070	234	241	233	229	長崎 13%
	25年	13,686	221	244	216	212	和歌山 12%
	26年	16,432	211	224	201	211	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均	15,452	224	230	219	225	前年及び本年の
	27年見通し	17,000	220	240	210	210	入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
「普通みかん」主力となり、静岡、愛媛、長崎、和歌山などから入荷する。静岡の「青島」は2L、Lサイズが中心で品質も良好。愛媛は「南柑2号」が中心だが、降雪の影響で傷みが増え数量が減少する見込み。入荷量は前年をやや上回り、価格も前年をやや上回ると見込まれる。							
いちご	22年	4,401	1,053	1,121	1,019	1,020	栃木 41%
	23年	4,017	1,157	1,206	1,130	1,141	福岡 18%
	24年	3,305	1,282	1,341	1,166	1,335	茨城 13%
	25年	4,163	1,192	1,345	1,125	1,111	静岡 8%
	26年	3,502	1,343	1,508	1,258	1,262	(愛知産比率 2%)
	5ヵ年平均	3,878	1,196	1,294	1,133	1,162	前年及び本年の
	27年見通し	3,800	1,250	1,400	1,200	1,150	入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
栃木中心に、福岡、茨城、静岡から入荷する。当初は生育が前進して進んでいたが、12月の低温でクリスマス前に数量が増えなかった。年明けは中旬か下旬にかけて潤沢な入荷が見込まれる。栃木は半ば以降、福岡は上旬から増えてくる。入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年をかなり下回ると見込まれる。							

切花・鉢花の1月の見通し

切花（愛知名港花き地方卸売市場 12月28日現在）

単位：千本、円/本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
輪 ぎ く	実績	22年	2,120	59	
		23年	1,706	56	
		24年	1,857	47	
		25年	1,587	59	
		26年	1,790	47	
		5ヶ年平均	1,812	53	
	27年見通し	1,700	50		
概要	愛知、三重、沖縄等から入荷。作付は昨年並みからやや少なめで、日照不足や低温が続くと太みが乗らず、箱数は出づらくなる。業務主体の値動きとなるが、堅調に推移すると思われる。				
小 ぎ く	実績	22年	1,047	30	
		23年	749	37	
		24年	987	25	
		25年	949	32	
		26年	973	21	
		5ヶ年平均	941	29	
	27年見通し	960	25		
概要	沖縄中心に入荷。年末の残りにもよるが12月の低温、日照不足から咲き足は鈍っていきおり、全般に落ち着いた入荷となると思われる。引き続き低温傾向が続くと品薄感もそう。				
カー ネ ー シ ョ ン	実績	22年	939	35	
		23年	963	35	
		24年	953	37	
		25年	914	38	
		26年	960	35	
		5ヶ年平均	946	36	
	27年見通し	960	37		
概要	愛知県を中心に和歌山、長野から入荷。今年は全体的に9月の寒暖差があったため、生育が順調で1月は安定供給が見込める。業務中心にスタンダードの引き合いが強い。				
か す み 草 う	実績	22年	154	83	
		23年	132	85	
		24年	148	80	
		25年	143	75	
		26年	174	79	
		5ヶ年平均	150	80	
	27年見通し	170	75		
概要	高知、和歌山、熊本から入荷。入荷量は昨年並みぐらい。前半は少なく、後半はより増加。価格は業務中心の販売で厳しい販売となろう。				

単位：千本、円/本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
ゆ り	実績	22年	250	186	
		23年	278	188	
		24年	271	196	
		25年	274	163	
		26年	266	204	
	5ヶ年平均		268	187	
	27年見通し		270	200	
概要	高知、愛知、静岡、埼玉から入荷。OHは年末出荷の遅れた分が前半集中しそう。中旬以降は数量減少。鉄砲、LAコリは月を通して入荷は少ない。業務中心に販売で価格は入荷次第で波がありそう。				
洋 ら ん	実績	22年	352	79	
		23年	452	71	
		24年	486	73	
		25年	424	75	
		26年	470	85	
	5ヶ年平均		437	76	
	27年見通し		470	80	
概要	高知、徳島、愛知、静岡、輸入物が入荷。12月の低温、日照不足などによって、出荷が遅れた品目が出揃う。コショウラン、シンビジウムなどはその傾向があり、他の輸入関係は若干少ない見込み。				
ば ら	実績	22年	666	76	
		23年	665	75	
		24年	636	76	
		25年	677	74	
		26年	654	78	
	5ヶ年平均		660	76	
	27年見通し		650	78	
概要	愛知、岐阜、三重、和歌山中心に入荷。夏からの日照不足の影響を受け、入荷量は増えてこない。輸入も円安の影響で品薄感がありそう。				
枝 も の	実績	22年	1,095	48	
		23年	1,501	42	
		24年	1,411	42	
		25年	1,414	41	
		26年	1,433	45	
	5ヶ年平均		1,371	44	
	27年見通し		1,450	43	
概要	長野中心に促成の桜、ボケ、コデマリが入荷。成人式で上の階級の引き合いが強いが、それ以降は鈍化しそう。下の階級は引き続き引き合いは強い。				

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
工 鉢	実績	22年	30,582	211	
		23年	31,377	213	
		24年	32,586	201	
		25年	24,267	192	
		26年	24,439	218	
		5ヶ年平均	28,650	207	
	27年見通し	24,000	200		
概要	<p>入荷量は、昨年並みか。品種としては目新しいものもなく、従来品となり、月初めから白花を中心に順調な入荷となりそう。市況は、年始売り絡みで上旬は良いが、月後半になるほど厳しさを増すと予想。</p> <p>昨年1月の主要県の入荷実績(金額ベース)は、1位山梨県(23.3%)、2位長野県(21.6%)、3位新潟県(21.1%)となっている。</p>				
プ 鉢	実績	22年	502,370	94	
		23年	446,659	115	
		24年	429,103	113	
		25年	568,297	99	
		26年	547,825	96	
		5ヶ年平均	498,851	102	
	26年見通し	540,000	95		
概要	<p>入荷量は、昨年並みか。初恋系を始め、品種物も順調な入荷となりそう。ポリアン、ジュリアンとも生育良好で良品が期待できそう。天候次第では、前倒しの入荷もありうる。</p> <p>昨年1月の主要県の入荷実績(金額ベース)は、1位愛知県(46.1%)、2位三重県(11.0%)、3位埼玉県(9.8%)となっている。</p>				
チュ ー 鉢	実績	22年	103,278	162	
		23年	79,148	185	
		24年	78,074	189	
		25年	64,454	194	
		26年	70,026	180	
		5ヶ年平均	78,996	181	
	27年見通し	49,000	180		
概要	<p>入荷量は、昨年より3割減か。特に愛知県産が減少。鉢サイズは、6号鉢が少なく、4号、5号鉢が主体か。品種別では、赤、黄、ピンクが主体となりそう。</p> <p>昨年1月の主要県の入荷実績(金額ベース)は、1位愛知県(54.7%)、2位埼玉県(23.8%)、3位長野県(6.5%)となっている。</p>				

単位：鉢、円/鉢

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
サイネリア	実績	22年	44,920	314	
		23年	57,264	267	
		24年	44,843	295	
		25年	49,580	301	
		26年	56,662	288	
	5ヶ年平均		50,654	292	
	27年見通し		56,000	280	
概要	<p>入荷量は昨年並みか。市況としては、世間一般の買い控え傾向で厳しくなることが予想。 昨年1月の主要県の入荷実績（金額ベース）は、1位埼玉県（23.1%）、2位愛知県（16.9%）、3位茨城県（15.2%）となっている。</p>				
マーガレット	実績	22年	37,578	193	
		23年	39,445	179	
		24年	45,641	193	
		25年	48,306	187	
		26年	46,545	201	
	5ヶ年平均		43,503	191	
	27年見通し		46,000	200	
概要	<p>入荷量は昨年並みか。今後の天候、日照量、温度等にもよるが、中旬頃から徐々に増加か。品種、仕立て、色幅等、新たなラインナップを期待。 昨年1月の主要県の入荷実績（金額ベース）は、1位岐阜県（31.8%）、2位愛知県（24.3%）、3位静岡県（16.5%）となっている。</p>				
デンドロビウム	実績	22年	19,072	1,066	
		23年	23,830	711	
		24年	20,218	775	
		25年	35,479	513	
		26年	22,422	782	
	5ヶ年平均		24,204	733	
	27年見通し		22,000	700	
概要	<p>入荷量は昨年並みか。上旬は少なめ、下旬から増加か。昨年同様、シーズンを通して、ツボミ出荷をお願いしたい。市況としては、上旬が高めか。 昨年1月の主要県の入荷実績（金額ベース）は、1位愛知県（50.6%）、2位岡山県（13.6%）、3位静岡県（11.6%）となっている。</p>				

主要農林水産物の輸出入実績(2014年)

1 輸入実績

品名	1 0 月						1 0 月 まで の 累 計					
	数量	前年比	金額	前年比	単価	前年比	数量	前年比	金額	前年比	単価	前年比
	トン	%	千円	%	円/kg	%	トン	%	千円	%	円/kg	%
野菜(生鮮・冷蔵)	61,018	91.0	9,025,298	99.2	148	109.0	714,757	112	78,501,479	101	110	90
トマト	912	88.6	438,896	97.7	481	110.3	6,388	92	2,586,442	98	405	107
たまねぎ	26,426	71.7	1,342,755	78.9	51	110.2	299,933	128	14,813,300	112	49	87
にんにく	1,765	114.3	316,357	136.2	179	119.2	15,745	102	2,657,882	91	169	89
ねぎ	5,039	101.5	557,407	93.1	111	91.7	47,045	104	4,976,518	98	106	94
ブロッコリー	2,340	107.7	28,281	5.2	12	4.8	28,281	90	5,385,048	86	190	96
結球キャベツ	3,242	307.5	101,071	252.6	31	82.1	33,166	151	1,303,776	155	39	102
にんじん・かぶ	7,079	108.2	269,691	77.3	38	71.4	64,575	98	3,128,552	86	48	88
ごぼう	4,759	103.9	232,899	66.4	49	63.9	39,388	122	2,893,888	154	73	126
えんどう	31	29.2	13,964	34.3	450	117.5	577	38	201,511	37	349	99
アスパラガス	1,316	107.9	877,534	106.3	667	98.5	9,782	108	5,787,608	109	592	101
まつたけ	288	87.4	1,944,617	103.0	6,752	117.9	918	83	4,918,246	91	5,358	110
しいたけ	241	71.2	89,254	67.6	370	95.0	1,975	75	755,884	81	383	108
かぼちゃ	1,988	225.3	153,044	249.2	77	110.6	83,278	95	6,699,805	101	80	105
果実(生鮮・乾燥)	131,481	94.2	22,851,096	114.3	174	121.2	1,445,690	94	241,652,873	110	167	117
バナナ	84,754	94.9	7,831,864	112.7	92	118.8	806,772	97	73,340,662	107	91	110
パイナップル	12,668	85.6	953,228	95.5	75	111.5	140,341	93	10,359,128	110	74	119
レモン	3,818	122.4	642,859	109.8	168	89.8	42,201	101	7,654,678	132	181	130
オレンジ	4,627	72.8	554,684	79.7	120	109.4	78,016	75	11,009,134	96	141	128
グレープフルーツ	434	43.0	37,163	42.3	86	98.4	95,248	85	9,892,890	91	104	107
メロン	1,716	86.1	211,124	104.7	123	121.5	26,223	90	2,885,874	95	110	105
ぶどう	1,447	83.5	509,872	93.7	352	112.3	24,429	143	6,683,815	159	274	111
キウイ	3,782	142.8	1,121,450	156.2	297	109.4	61,611	111	21,203,750	122	344	109
いちご	726	95.3	780,164	106.5	1,075	111.7	2,937	98	2,983,509	104	1,016	106
切花(生鮮・乾燥)	3,148	88.2	2,626,228	86.9	834	98.5	35,001	92	30,235,258	100	864	109
鳥獣肉類	207,063	131.8	112,100,036	152.5	541	115.7	1,662,857	111	844,333,333	120	508	108
牛肉(くず肉含む)	48,881	107.7	32,769,202	146.6	670	136.1	442,260	99	250,357,479	113	566	114
豚肉(くず肉含む)	99,956	149.7	54,974,247	155.6	550	104.0	728,742	119	399,491,764	123	548	104
鶏肉	47,523	132.5	14,797,956	170.5	311	128.7	394,343	114	114,393,246	124	290	108
水産物(生鮮・冷蔵・冷凍)	144,052	96.2	108,297,610	107.6	752	111.8	1,353,474	98	917,264,522	109	678	112
まぐろ類	21,512	106.7	1,636,375	10.6	76	10.0	175,589	102	141,504,122	100	806	97
さば・さんま・あじ・いわし	3,755	114.3	864,555	109.0	230	95.3	54,097	113	12,545,780	133	232	118

2 輸出実績

果実(生鮮・乾燥)	7,592	176.4	2,266,623	179.7	299	101.9	19,515	129	8,321,038	136	426	105
うんしゅうみかん	1,807	149.8	262,315	174.7	145	116.6	2,097	151	455,015	169	217	112
りんご	4,435	218.3	1,420,231	210.7	320	96.6	13,103	133	4,706,855	141	359	106
なし	127	171.9	65,924	163.1	519	94.9	921	83	485,565	90	527	108
野菜(生鮮・冷蔵・乾燥)	-	-	435,670	119.9	-	-	-	-	2,948,021	118	-	-
緑茶	356	130.3	786,909	131.2	2,210	100.7	2,762	118	6,284,314	118	2,275	100

資料 農林水産省大臣官房統計部「農林水産物輸出入情報」

関 連 指 数

年 月		消費者物価指数				
		総 合	生 鮮 野 菜	生 鮮 果 物	肉 類	魚 介 類
		全 国 平成22年 = 100				
		愛知県 平成22年 = 100				
全 国	24年平均	99.7	96.1	103.3	99.0	101.4
	25年平均	100.0	96.4	101.6	99.3	102.4
	26年 7月	103.6	94.2	109.7	109.8	113.0
	8月	102.9	93.2	110.9	106.7	110.1
	9月	102.6	94.4	108.1	103.1	107.7
	10月	102.7	96.8	110.1	101.0	105.1
	愛 知 県	24年平均	99.7	98.0	105.3	99.1
25年平均		102.9	102.3	117.2	101.1	107.9
26年 7月		103.5	98.7	111.6	107.2	111.4
8月		102.7	99.7	112.5	104.2	109.4
9月		101.1	98.6	110.7	103.1	107.3
10月		102.1	99.0	108.1	101.3	104.7

年 月		農業物価指数 (平成22年 = 100)				
		農産物 総 合	米	野 菜	果 実	畜産物
		全 国 平成22年 = 100				
		愛知県 平成22年 = 100				
全 国	24年平均	101.8	111.1	99.0	102.8	100.9
	25年平均	105.5	106.3	100.9	103.3	112.6
	26年 7月	100.6	102.4	95.6	96.1	118.5
	8月	101.1	100.9	97.2	95.9	115.8
	9月	100.9	100.5	97.2	96.1	113.4
	10月	101.3	100.7	99.1	97.4	110.2
	愛 知 県	24年平均	101.8	111.1	99.0	102.8
25年平均		105.5	106.3	100.9	103.3	112.6
26年 7月		100.6	102.4	95.6	96.1	118.5
8月		101.1	100.9	97.2	95.9	115.8
9月		100.9	100.5	97.2	96.1	113.4
10月		101.3	100.7	99.1	97.4	110.2

資料 農林水産省大臣官房統計部「農業物価指数」

資料 全 国・総務省統計局「消費者物価指数月報」
愛知県・愛知県県民生活部「名古屋市消費者物価指数」

名 古 屋 市 小 売 価 格 (円)														
年 月	品目 単位	うるち 米 (単一品種、 「コシ加」 以外)	キ ャ ベ ツ	は く さ い	ね ぎ	レ タ ス	ば れ い し ょ	だ い こ ん	に ん じ ん	た ま ね ぎ	き ゆ う り	ト マ ト	生 し い た け	りんご(ふじ)
		5 kg	1 kg										100g	1kg
24年平均		2,112	147	178	629	457	297	160	350	229	558	665	165	564
25年平均		2,084	149	182	649	442	299	163	388	231	569	695	162	567
26年 7月		1,934	147	192	699	330	343	169	365	280	535	580	152	637
8月		1,945	149	190	698	346	339	164	367	266	545	568	146	654
9月		1,929	145	198	701	366	331	170	381	253	550	551	140	661
10月		1,931	150	192	699	363	329	165	380	254	551	548	134	665
年 月	品目 単位	み か ん	グ レ イ プ フ ル ー ツ	オ レ ン ジ	い ち ご	バ ナ ナ	キ ウ イ フ ル ー ツ	緑 茶(せん茶)	カ ー ネ ー シ ョ ン	き く	パ ラ	豚 肉(ロース)	牛 肉(ロース)	ま ぐ ろ
		1 kg	100g	1 kg	100g	1 本	100g	1 本	100g					
24年平均		582	283	352	177	211	805	534	153	168	306	225	797	398
25年平均		581	285	355	179	214	792	530	159	171	310	231	794	390
26年 7月		690	348	446		240	847	562	169	176	335	246	860	413
8月		699	357	476		258	861	558	160	178	348	241	849	420
9月		703	361	468		244	870	551	154	172	349	240	851	419
10月		699	356	469	181	242	855	549	152	171	349	236	857	421

資料 総務省統計局「小売物価統計調査報告」



いいともあいち運動って知ってる？

県内の消費者と生産者が今まで以上に**いい友**関係になる

Eat more Aichi products (イート モア アイチ プロダクツ)

= もっと愛知県産品を食べよう (利用しよう)

愛知県の農林水産業の振興や農山漁村の活性化を通じて県民全体の暮らしの向上を図るため、県民の方々に「愛知県農林水産業の応援団」になってもらい、消費者と生産者が一緒になって愛知県の農林水産業を支えていこうという「運動」です。

県民の方々に愛知県産農林水産物をもっと利用していただきたいという、「愛知県版地産地消の取組」でもあります。

あいち農産物生産流通レポート 499
平成27年1月発行
農林水産部食育推進課
〒460-8501
名古屋市中区三の丸三丁目1番2号
電話 (052) 954-6421